

学園教育目標「笑顔をつなぐ 未来へつなぐ 東国分爽風学園の学び」



爽風だより

第7号 令和7年5月27日発行

→爽風学園ブログは[こちら](#)

→東国分中学校 HP は[こちら](#)

→稻越小学校 HP は[こちら](#)

→曾谷小学校 HP は[こちら](#)

稻越小学校、曾谷小学校、東国分中学校の3校は、令和3年度より小中一貫型小学校・中学校「東国分爽風学園」として新たなスタートを切っています。今号では「小中一貫型小学校・中学校」とはどのような学校なのか、爽風学園ではどのような取組をしているのかについて紹介します。

「小中一貫型小学校・中学校」とは



「小中一貫型小学校・中学校」とは、義務教育学校のように小・中学校を統合して一貫教育を行う学校とは異なり、現在ある小・中学校が連携、協力して一貫教育を行う学校のことです。具体的には①施設（校舎）が異なる ②各学校に校長がいる ③各学校の組織を維持したまま運営 といった中で協力・連携を図っていきます。そして9年間のつながりを大切にした教育を実践していきます。

具体的な特徴として、小中の指導内容の入れ替えや前倒しをすることができます。また、学びの質を高める新しい教科や子どもの発達段階に合った独自のカリキュラム編成を行うことができます。

市川市では、「東国分爽風学園」のほかに「信篤三つ葉学園」があります。

東国分爽風学園の取組



爽風学園3校の状況として、「学区の関係ですべての児童生徒が9年間を爽風学園で過ごすわけではない」という現状があります。

そのため、授業における指導内容の入れ替えや前倒しは難しいと考えています。そのような中、3校では「それぞれの学校の教育活動をしっかり行いながら、子どもたちに有益かつ持続可能な協力・連携を行っていこう」という方針を立て、企画や案については「爽風学園プロジェクト会議」(各学校代表職員と市教委による連携推進会議)や「ブロック校長会」等で進めています。ちなみに昨年度は以下の取組などを行いました。

- ・児童会と生徒会の交流
- ・給食オンライン交流会
- ・ブルーリボン(いじめ根絶)運動
- ・合同音楽会
- ・小学生による中学校見学会
- ・小学校職員を中学校合唱祭の審査員として派遣
- ・学校評価結果の共有
- ・職員合同研修会
- ・職員合同教科部会
- ・職員合同専門部会
- ・爽風カフェ(ティーチャーズカフェ)
- ・「爽風だより」の発行
- ・「爽風学園ブログ」の開設

今年度は、新たに小学校による東国分中を目的地とした「合同歩き遠足」が行われています。今後も様々なアイデアを取り入れながら、連携の充実を図っていきたいと考えています。